

Nafamostat mesilate (Futhan)による多彩なアレルギー症状を呈した維持透析患者の一例

第 51 回 大阪透析研究会

佐々木敏作・栗岡康子・山田明子¹ / 丸山禎之・和田 茂² (大阪掖済会病院 内科¹ / 透析室²)

【症例】65 歳男性, 平成 8 年 5 月透析導入。平成 10 年 2 月 2 日より 2 月 27 日までフサン透析が行われた。2 月 23 日より高熱が出現, その後全身の発疹, 下痢, 好酸球増多を認めた。さらにフサン透析開始後にショック症状も認めたため, フラグミンに変更した。ステロイドを併用し, 上記症状は改善した。フサンによる DLST は陽性であり, フサンアレルギーと考えられたが, 抗フサン Ig-E 抗体は陰性であった。近年フサンによるショック発現症例の報告が散見されるが, 本例のように多彩なアレルギー症状を呈した症例は稀であり, 今後その使用にあたり注意を要する。